

輸出事業計画

※申請者名：松井酒造株式会社

品目：清酒、及び清酒をベースとしたリキュール

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・日本酒イベントや英語での酒蔵見学を通じて海外からの問い合わせが増えたことが輸出事業への取り組みのきっかけとなる。
- ・地元産にこだわった高品質な製造を行っていることや、デザイン性の高さ、希少性が海外の取引先や展示会において非常に好評。

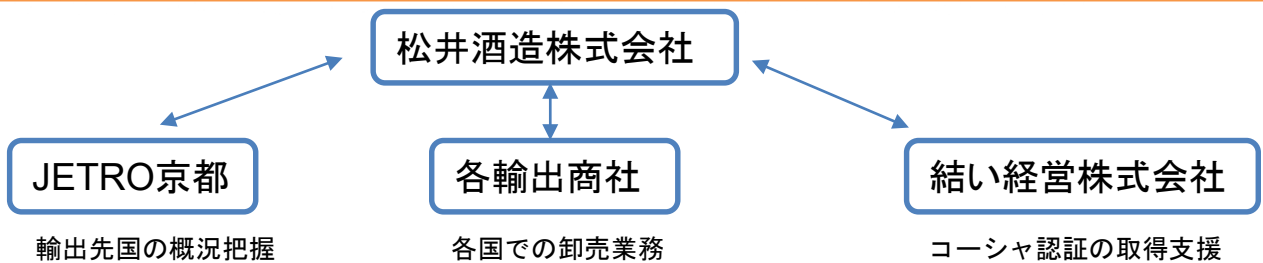
【課題】

- ・アメリカやフランス、ドイツ、香港のバイヤー等からHACCP等の第三者認証の取得を求められているが、認証取得には施設等の整備が必要。
- ・輸出先国ごとに商社と独占契約を締結して取引を行っているため、更なる輸出拡大への対応が困難。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・専門家のアドバイスを受けて施設等整備を行い、取引先が求める国際的な第三者認証であるとともに、安全性や健康面等で優れたイメージを持ち、ユダヤ系等富裕層にも支持されるコーシャ認証を取得する。
- ・現在取引している商社との独占契約条項を解除し、新たな商社等との商流開拓により、輸出量の増加を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	【現状】 (令和5年7月期)	【目標】 (令和11年7月期)
輸出額（千円）	11,082	61,200
輸出量（kg）	4,420	21,870
輸出先国	香港、韓国、台湾、シンガポール、フランス、中国、ドイツ	香港、韓国、台湾、シンガポール、フランス、中国、アメリカ、ドイツ